

猫が庭などに入らないようにする方法

① 忌避剤

猫の嫌いな臭いや刺激臭によって猫が近づきにくくなります。

※注意点

- ・雨や風で効果が薄れてしまうので、効力を維持するために、定期的に交換する必要があります。
- ・猫が臭いに慣れてしまうと、効かなくなる場合がありますので、同じものを長期間利用するのではなく、定期的に変える必要があります。
- ・臭いが強いものや色が付いてしまうものもあります。その場合はあらかじめ、近隣の方に説明しておきましょう。
- ・化学薬品などは健康被害の誘因となる可能性があるため、使用をお控えください。

市販の忌避剤	ペットショップや薬局、ホームセンター等で販売されている。
香りの強いハーブ等の植物を植える	猫の嫌がる香りのするハーブなどを植えるか、鉢植えを猫の通り道に置く。あるいは、ハーブの香料を置く。 ※例として、ランタナ、ユーカリ、ゼラニウム、ヘンルーダ、ローズマリー、レモングラス、柑橘類、ペパーミント、タマネギ、ニンニク、チャイブ、マリーゴールド、カニナハイブリット（ドイツで開発されたコリウスの一種で犬にも有効と言われる）等。
木酢液	園芸用肥料としてホームセンター等で販売されている。スプレーすれば、猫のにおい消しにも有効。
ニンニク	細かくきざんで撒くか、ネットに入れて吊るす。
とうがらし	唐辛子を細かく切って撒くか粉末状のものを撒く。
香辛料	コショウやカレー粉等の香辛料を、通り道やフンを する場所に撒く。

コーヒーかす・茶殻	コーヒーをドリップした後のカスやどくだみ茶などの茶殻を散布する。 ※持続性がなく、雨で流れると効果がなくなる。花壇等にも撒ける。
米のとぎ汁	とぎ始めの濃い汁を散布する。
ミカンなどの皮	柑橘類の皮を撒く。 ※香りがなくなると、効果がなくなる可能性がある。
食用酢	容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置く。2倍から10倍程度に水で薄めたものを毎日噴霧する。
どくだみの葉	どくだみの葉をつぶしたものを撒く。または、つぶした汁を撒く。あるいは、どくだみを植える。
クレオソート製剤	水に浸したものを散布するか、空き缶に入れて通路に置く。
ナフタリン	ナフタリンを吊るしたり、埋めたりする。
たばこの吸い殻の浸し液	たばこの吸い殻を水に浸した液を散布する。 ※誤って飲むとニコチン中毒になる恐れがあるので取り扱いに注意する。

② 障害物など

人が転んだ時に怪我をするおそれのない場所に設置しましょう。

水を撒く	ホースでたっぷりと水を撒く。 ※猫は体がぬれることを嫌がるため。
枯れ枝	枯れ枝を一面に敷く。球根や種を植えているところに敷き詰めると、掘り返されない。
ガムテープ	粘着面を外側にして輪を作り、猫の通り道に置く。
割り箸	猫の通り道や花壇に立てて置く。
荷造りのひも	へびに見えるように蛇行させて、通り道に置く。
石灰・炭粉	ホームセンターや園芸店で販売されている。通り道に撒くと足に粉が付き、猫が嫌がる。

猫よけトゲトゲシート	ホームセンターや 100 円均一ショップ等で販売されている。 花壇の上などに置くと、トゲで歩けなくなるため、猫が近寄らなくなる。
------------	---

③ 猫を追い払う方法

猫は愛護動物ですので、虐待にあたる行為はしてはいけません。法律で罰せられます。

センサー超音波	猫が通るとセンサーにより、超音波を発生する装置が市販されている。
---------	----------------------------------

上記の方法をとる際に気をつけてほしいこと

- ① 個体差もあり、あまり反応しない猫もいるので、必ずしも効果を保障するものではありません。
- ② 方法によっては、効果が長続きしない場合や、反復継続を続けることが必要な場合があります。猫が慣れてしまい、反応しなくなる場合もあります。
- ③ 臭いがするものを使用する際は、あらかじめ近隣の方に説明をしておく等、トラブルにならないようにしましょう。
- ④ 猫は愛護動物です。虐待にあたるような犯罪行為はしてはいけません。